

令和7年度採用 市職員募集 (後期日程)

試験区分	予定人数	受験資格※1
一般事務 (高卒程度)	8人程度	平成6年4月2日以降に生まれた人(30歳以下) ※大学(短期大学を除く)を卒業、または卒業見込みの人を除く
土木技師 (高卒程度)	2人程度	平成元年4月2日以降に生まれた人(35歳以下)
土木技師 (実務経験者)	3人程度	昭和59年4月2日以降生まれ(40歳以下)で、民間企業などで土木関係の設計、施工管理に従事した勤務年数※2が平成29年4月1日から令和6年3月31日までの間に通算4年以上ある人
電気技師 (高卒程度)	1人程度	平成元年4月2日以降に生まれた人(35歳以下)
保健師 (短大卒程度)	1人程度	昭和59年4月2日以降生まれ(40歳以下)で、保健師の資格を持っている、または令和7年3月末までに取得見込みの人
管理栄養士 (短大卒程度)	1人程度	昭和59年4月2日以降生まれ(40歳以下)で、管理栄養士の資格を持っている、または令和7年3月末までに取得見込みの人
看護教員	1人程度	昭和54年4月2日以降生まれ(45歳以下)で、次のいずれかに該当する人 ①看護教員の資格を持っている、または令和7年3月末までに取得見込みである ②保健師または助産師、看護師として5年以上業務に従事し、市職員として採用された後、専任教員養成講習会の受講が可能である
看護師 (御所浦診療所勤務)	1人程度	平成元年4月2日以降生まれ(35歳以下)で、看護師の資格を持っている、または令和7年3月末までに取得見込みの人

※1 「受験資格」の年齢は、令和7年4月1日時点の年齢です。

※2 「勤務年数」には、1週間当たりの所定労働時間が30時間以上で、1年以上継続して就業していた期間が該当します(産前産後休暇期間は含み、育児休業などの休業期間は除く)。

■試験日程 9月22日⑨ 9:00~

■試験会場 市内本渡地区(申込者に通知)

市ホームページ▶



■申込方法 7月1日⑨から31日⑨までに、市ホームページまたは採用試験案内に記載のURL・二次元コードから申し込んでください。

※資格要件の詳細は、市ホームページまたは採用試験案内(総務課、各支所に設置)で確認してください。

※同日に実施するほかの試験区分および7月14日⑨に実施予定の前期日程試験との併願はできません。

また、申込受付後の試験区分の変更はできません。

申問 総務課 ☎24-8800



雲仙天草国立公園の「天草地域」指定70周年を記念して 夕方の時報で天草小唄を放送します

雲仙天草国立公園の「天草地域」指定から令和8年7月20日で70年を迎えます。天草の風光明媚な自然景観を継続して保護していくという気運を高め、改めてその魅力を感じてもらうため、雲仙天草国立公園天草地域のテーマソングともいえる「天草小唄」のメロディを市内全域の防災無線で時報として放送します。

夕暮れのひとときに、天草小唄の音色に耳を傾けてみませんか。

☎観光振興課 ☎32-6787

放送：7月20日④から 毎日17:00または18:00(現在の時報に替えて放送します)

※牛深地域は引き続き19:00にも放送します。



■国立公園編入運動のはじまり

昭和6年に国立公園法が制定されると、全国で誘致活動が始まりました。有力な候補地として雲仙や阿蘇が挙がる中、天草でも観光事業による経済振興のため、昭和6年7月に「天草風景協会」が結成され、国立公園編入に向けて活動を開始しました。その後、昭和8年2月に「天草国立公園地域編入期成会」が誕生。この直後から国立公園調査特別委員が相次いで天草を訪問し、その風景のすばらしさを称賛しています。

■横田良一と「天草小唄」



同時期、東京で歌手として活動していた天草出身の横田良一(当時21歳)は、昭和8年に帰郷した際、天草の歌が欲しいという想いを強くし、「天草小唄」の制作を決意。その想いが国立公園編入運動にも合致したことから、郷土誌「みくに」と「天草国立公園地域編入期成会」の後援を受け紙面で歌詞を募集し、天草関係の著名人から多額の資金援助を得て「天草小唄」を完成させました。

同歌は「郷土を音楽化した」ともいえる作品で、国立公園への指定を目指す運動のPRソングとなり、全国で大ヒット。横田はその後も人気歌手として活動を続けましたが、喉頭結核を発症し、昭和11年1月に24歳の若さで生涯を終えました。

■雲仙天草国立公園の誕生

昭和7年当時、雲仙と天草が一体となって国立公園となる案は、国の委員会でも提案されました。しかし、当時の方針として風景のまとまりが重要視されたことから委員の賛同が得られず、昭和9年、日本初の国立公園には雲仙地域のみが指定されました。戦後再び国立公園と観光への関心が高まる中、戦前に指定されなかった地域の見直しが行われ、昭和30年に天草が国立公園に指定。昭和31年7月20日、雲仙国立公園に天草国立公園が編入される形で「雲仙天草国立公園」が誕生しました。

期成会の結成から23年、横田良一の死から20年後のことでした。

※放送はメロディのみ

天草小唄

詞・平野雅曠 / 作曲・大村能章

四 温泉白鷺
明朝牛深
今宵は崎津
熱い情けの
出船別れの
涙雨

三 雲か山かと
灘のかなたに
やさし巴の
抱かれて眠る
袋湾

二 浮ぶ白帆に
走る汽船の
上と下との
渡りや本渡の
文華の町

一 波に揺られて
朝日ほのぼの
ここは天草
かなし殉教の
夢の島

不知火消えりや
有明そめる
あの切支丹
の
島の